

# 季節の花を用いた大型空間ディスプレイの製作

フラワーファクトリ科

2・3年草花A班22名

## 1、目的

近年花業界で求められる人材はフラワー装飾に関する技術を幅広く持っていることであり、従来の西洋から伝わったフラワーアレンジメントの知識や技術だけでなく、日本古来から継承されてきた華道の技術を持っていることが有効である。本研究では、長年花業界に携わってきた専門家の方から講義および指導を受け、実際に制作することを通して広い空間を飾る大型ディスプレイの制作技術を身につけることを目的としており、平成28年秋より継続している研究である。

## 2、実施計画

平成29年秋・平成30年秋	剣山方式あるいは投げ入れ方式の実習	個人で制作
平成31年 1月24日	3年投げ入れ方式の実習（大作）	2名1組で制作
令和 1年 9月17日	2年投げ入れ方式の実習	個人で制作
令和 1年10月23日	2年投げ入れ方式の実習	個人で制作
令和 2年 1月20日	3年投げ入れ方式の実習（大作）	1名あるいは2名1組で制作
令和 2年 2月13日	2年投げ入れ方式の実習（大作）	2名1組で制作

## 3、実施

令和2年2月13日 投げ入れ方式の実習（大作）



（使用した花材）

枝物：コブシ・サンシュユ・コデマリ

花物：アジサイ・アルストロメリア（3品種）・ダリア（2品種）・ユリ

葉物：ツバキ・アセビ

## 4、考察

大作は今まで作ったことがない大きな作品で花材のバランスをとることが難しかった。それに中にスポンジが入っているわけではないため、この位置に花を入れたいと思っても実際は花瓶の中で動いてしまい、思った位置に配置することが難しかった。さらに、作品を制作する上で、普段授業で作っている小さなアレンジとは違い、作品を一步下がって遠くから見るのが大事だということも学んだ。今回の実習は難しかったがそれ以上に楽しく、また挑戦したいという気持ちに繋がった。この実習内容は卒業式や入学式の舞台装飾に繋がる実習であり、そこでは今回よりもさらにレベルアップできるように頑張りたい。